

十勝開拓の年表

明治に入って蝦夷地は「北海道」となります。十勝では、明治29年(1896)に「殖民地解放」がおこなわれ、開拓が一気に進みます。

11世紀(約1千年前)から今までの年表

平安時代	鎌倉時代	室町時代
11世紀 擦文時代 1千年前 一〇八七 藤原氏東北支配 一〇八三 後三年の役 一〇七〇 北奥合戦 一〇五一 前九年の役	12世紀 二二〇〇 安藤氏、エゾ管領に 二二〇〇 交易商人 漂流者などが北海道へ 二一九〇 重罪人が北海道へ 二八九 藤原氏、滅ぼされる	13世紀 一三三二 安藤氏の乱 一三三二 安藤氏の乱
	14世紀 アイヌ文化期 一三三二 安藤氏の乱	15世紀 一四五〇 アイヌ民族と和人、何度も戦った 一四五七 アイヌ民族と和人、何度も戦った 一四五七 アイヌ民族と和人、何度も戦った 一四五七 アイヌ民族と和人、何度も戦った 一四五七 アイヌ民族と和人、何度も戦った

・1274 文永の役
 ・1192 源頼朝、征夷大將軍に
 ・1281 弘安の役
 ・1338 足利尊氏、征夷大將軍に

※ 室町期より安藤氏は「安東氏」と書かれることが多いが、ここでは「安藤氏」で統一する

1860年から昭和35年(1960)までの年表

江戸時代	明治時代	開拓期
1860 アイヌ文化期 一八五九 箱館 函館開港(貿易も) 一八五八 松浦武四郎、十勝(新得)帯広(大津)大樹(札内)大津(ほか北海道へ)	1870 明四(一八七〇) 大津に静岡から団体移民。十勝国 開拓使に属す 明三(一八七〇) 十勝国、静岡藩と田安家・橋家が支配 明二(一八六九) 十勝国、静岡藩と鹿兒島藩に与えられる(鹿兒島藩返上) 明一(一八六九) 蝦夷地(北海道)となる(国郡制 定寄郡は釧路国) 明二(一八六九) 開拓使設置(明一五)	1880 明六(一八八〇) 晩成社、下帯広へ。札幌県、十勝川をさかのぼったサケの漁を禁止。洪水 明五(一八八〇) 札幌県設置(明一九)。大雪でシカが大量死。三浦等八、利別太へ。細谷十太夫、止若へ 明四(一八八〇) 河川はらん 明三(一八八〇) 札幌県設置(明一九)。大雪でシカが大量死。三浦等八、利別太へ。細谷十太夫、止若へ 明二(一八八〇) 茂寄に公立の広尾学校、大津に公立の簡易教育所。三浦等六、大津へ 明一(一八八〇) 大津と茂寄に戸長役場。十勝組合解散。大川宇八郎、音更村ムムへ 明二(一八七九) 大雪でシカが大量死。武田菊平、利別太へ。細川繁太郎、中足寄へ
	1890 明二(一八八九) 内田静から十勝国の原野を測定し、殖民地を測定 明一(一八八九) 十勝漁業組合でてる 明一(一八八九) 北海道庁設置 明一(一八八九) 札幌県、アイヌ民族に農業指導(明三三)	1900 明三四(一九〇〇) 関又、リクワンハツ開墾 明三三(一九〇〇) 高知県 福井県からシントク・サホロへ移民団体、福島県から美里別へ移民団体 明三二(一九〇〇) 帯広(サケマ)の化場。十勝川、利別川、大洪水。直別に黒岩農場。山形県からシントクへ移民団体 明三一(一九〇〇) 移民団体多数。千野農場。 明三〇(一九〇〇) 札内川に栗山橋。十勝川で大洪水 明二九(一九〇〇) 札内川に栗山橋。十勝川で大洪水 明二八(一九〇〇) 移民団体多数。興復社、牛首別へ。十勝川で流木のしゅんせつ。河西支庁設置 明二七(一九〇〇) 帯広尋常小学校。十勝川、利別川がはらん 明二六(一九〇〇) 十勝の殖民地解放。移民団体多数。木野村農場、池田農場、高島農場 明二五(一九〇〇) 十勝分監できる。大阪から上野原へ移民団体。滋賀県から下当縁へ農場。又ツブク川にサケの化場 明二四(一九〇〇) 十勝分監建築のため、糠平から音更川で木材流送。増田立吉が水田試作(下土幌) 明二三(一九〇〇) 徳島県から藩派へ板東農場、富山県から伏古へ移民団体 明二二(一九〇〇) 徳島県から藩派へ板東農場、富山県から伏古へ移民団体 明二一(一九〇〇) 徳島県から藩派へ板東農場、富山県から伏古へ移民団体 明二〇(一九〇〇) 大津街道開かれる(明二六)。大津にマツチの軸木工場 明一九(一九〇〇) 武山士平、止若へ

明治29年(1896)のおもな大農場と団体移民(順不同)
 池田農場(利別太・様舞)、高島農場(居辺・蓋派・信取)
 木野村農場(音更)、愛知団体(芽室太)、滋賀団体(下当縁)、
 兵庫県但馬団体(伏古別・然別)、函館の藤原農場(札内)、
 岡山県の吉備団体・中国団体(白人)、愛知団体(美蔓)、
 岐阜団体(美生中島・亮賢)、福井県青山団体(下利別)、
 石川団体(毛根・西土狩)、岐阜農場・熊谷農場(下浦幌)

明治30年(1897)のおもな大農場と団体移民(順不同)
 美濃開墾合資会社農場(土幌・毛根中島)、利別農場(洞寒・勇足)、
 興復社(牛首別)、堺農場(長節)、函館農場(仙美里)、
 利別農場(洞寒・勇足)、近藤農場(育素多)、桑名農場(下幌岡)
 仁礼農場(音更)、富山県矢部団体(音更)、岐阜県武儀団体(中土幌)、
 富山県江波団体(下音更・上音更)、新潟県の田中清助農場(下当縁)、
 三重県の南勢開拓合資会社(猿別)、石川県加賀団体(野塚・札内)、
 福井県越前団体(札内・伏古別・土幌)、千葉県団体(長節)、
 富山県団体(幸慶)、愛知団体(上毛根)、板東農場(下利別)、
 土田農場(生剛)

明治31年(1898)のおもな大農場と団体移民(順不同)
 桐淵農場(歴舟)、十勝開墾合資会社農場(人舞・熊牛)、
 森農場(下浦幌)、千野農場(下音更)、音幌農場(下土幌)
 富山県江波団体(ペンケチン)、愛知県尾張団体(下歴舟)、
 富山県伍位団体(糠内)、香川県讃岐団体(ベケレベツ)、
 三重県伊勢団体(上亮賢)、岐阜県別府団体(上帯広)、
 石坂農場(下歴舟)、富山県団体(農野牛・糠内)

注 農場の場合、実際に小作人が入植するのはあとになる場合もあります

・1868 明治維新
 ・1871 鹿藩置県
 ・1894 日清戦争
 ・1899 北海道旧土人保護法
 ・1898 十勝に徴兵令
 ・1904 日露戦争

第1章 十勝の平野や川がでるまで

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

さへん

江戸時代			明治時代		昭和時代	
16世紀	17世紀	18世紀	19世紀	20世紀		
アイヌ文化期			開拓期			
<ul style="list-style-type: none"> 一六〇四 松前藩となる 一五九九 蠣崎氏、松前氏となる 一五九三 蠣崎氏、安藤氏から自立 	<ul style="list-style-type: none"> 一六三〇 十勝でも砂金産出 	<ul style="list-style-type: none"> 一七二〇ころ トカチ場所、商人支配に 	<ul style="list-style-type: none"> 一八二二 北海道が松前藩領に 一八〇七 北海道全体が幕府領に 一八〇〇 皆川周太夫、十勝に 一七九九 北海道太平洋側が幕府領に 一七九八 近藤重蔵、エトロフに 一七八九 クナリ、メナシの戦い 一七八六 最上徳内、十勝へ 	<ul style="list-style-type: none"> 一八四五 松浦武四郎、北海道探検(五八八六回) 一八五五 北海道が幕府領に 	<ul style="list-style-type: none"> 一九〇五 釧路・帯広間鉄道開通 一八九六 十勝川で大洪水 一八九六 十勝の植民地解放 一八八六 北海道庁設置 一八八二 札幌設置 一八七五 十勝組合(八〇) 一八六五 開拓使設置(八二) 一八五五 北海道が幕府領に 	<ul style="list-style-type: none"> 一九五五 今の十勝大橋できる 一九九二 旅来渡船、廃止 一九八四 十勝ダム完成 一九七七 千代田堰堤、二段に 一九六三 十勝川、大津川に切りかえ 一九五六 糠平ダム完成(前年から発電) 一九四七 農地改革 一九四五 十勝空襲 一九三七 統内新水路通水 一九三二 十勝川で大洪水
<ul style="list-style-type: none"> ・1590 豊田秀吉、全国統一 ・1603 徳川家康、征夷大將軍に 			<ul style="list-style-type: none"> ・1853 ペリー、浦賀に来航 ・1868 明治維新 ・1894 日清戦争 ・1904 日露戦争 		<ul style="list-style-type: none"> ・1937 日中戦争 ・1941 太平洋戦争 ・1945 敗戦 	

第1章 十勝の平野や川ができた頃まで

第2章 先史時代と川

第3章 アイヌ文化と川

第4章 十勝開拓と川

第5章 発展、今、そして未来へ

用語

さくいん

大正時代		昭和時代	
開拓期	アイヌ文化期	戦後	戦後
<ul style="list-style-type: none"> 一九二〇 池田に製鉄(タンニ)工場。茂奇村ラッコハツに移民団体 一九二〇 十勝川、河西橋(十勝大橋の前身)完成 	<ul style="list-style-type: none"> 一九二〇 愛媛県からササハツへ移民団体 大八(一九一九) 岩手県から上美生へ、富山県から上礼内へ、熊本県からワシマフへ移民団体 大八(一九一九) 池田にバルブ工場。佐幌川で水力発電。利別川・十勝川で大洪水 大七(一九一八) 佐賀県・宮城県からワシマフへ移民団体 大六(一九一七) 島根県からササハツへ、佐賀県から大善地へ、鳥取県からワシマフへ移民団体 大五(一九一六) 数島からワシマフへ天理教徒移住 大四(一九一五) 大木書、宮城県からワシマフへ移民団体 大三(一九一四) 大木書、岩手県からワシマフへ移民団体 大二(一九一三) 居辺に佐倉農場。上幌内に岩手県南部団体 大(一九一一) 利別川に両国橋 	<ul style="list-style-type: none"> 一九四〇 昭五(一九四〇) 十勝大橋(渡橋式)工事は翌年完了 昭四(一九三九) 帯広土木事務所を帯広土木現業所と改称。帯広・十勝三股間、鉄道開通 昭三(一九三七) 十勝川の統内新水路通水。利別川の川合新水路工事始まる 昭二(一九三五) 千代田鮭鱒捕獲場 昭一(一九三五) 千代田堰堤完成。新しい河西橋(十勝大橋)着工。帯広・清水谷間、鉄道開通 昭八(一九三三) 十勝(サクマ)ふ化場(ヌツク川) 昭七(一九三三) 帯広・広尾間、鉄道開通。河西支庁が十勝支庁と改称 昭七(一九三三) 十勝川・利別川はらん。千代田堰堤着手 昭五(一九三〇) 十勝川・利別川、4ヶ増水。帯広・大樹間、鉄道開通 昭四(一九二九) 帯広ふ化場のサケ稚魚、工場汚水で全滅。帯広・中札内間、鉄道開通 昭三(一九二八) 帯広治水事務所、十勝川 統内新水路着手 大五昭一(一九二六) 広島県から更南地区へ移民団体。帯広・土幌間に鉄道開通 大四(一九二五) 帯広・土幌間に鉄道開通 大三(一九二三) 帯広に十勝川治水事務所。十勝川・利別川はらん 大二(一九二二) 十勝川、大洪水。栗山橋をかけたえ、札内橋と改称 	<ul style="list-style-type: none"> 一九六〇 昭三(一九五七) 札内橋(札内川)、高島橋(利別川)完成 昭二(一九五六) 川合橋(もぐり橋)完成、川合新水路に通水 昭二(一九五六) 糠平ダム完成 昭〇(一九五五) 集中豪雨・洪水 昭二九(一九五四) 洞爺丸台風、日高山脈の森林被害大 昭二八(一九五三) 十勝南部で大雨・洪水 昭六(一九五二) 北海道開発局 帯広開発建設部設置 昭五(一九五〇) 利別川の川合新水路工事、再開。帯広土木現業所 治水課設置 昭四(一九四九) 札内川改修工事、十勝川下流部堤防工事、統内新水路仕上げ工事 昭三(一九四八) 足寄郡(陸別村・足寄村)が十勝支庁管内に。アイオン台風による洪水 昭三(一九四七) 農地改革。カレン台風による洪水 昭〇(一九四五)から 戦後開拓者各地に入植 昭〇(一九四五) 帰農者集団入植。本別 帯広 池田 音更 浦幌 豊頃 大樹 広尾 土幌 帯別 帯別で空襲 昭八(一九四三) 十勝川・利別川はらん。川合新水路工事、戦争激化のため中断

明治32年(1899)以降のおもな大農場(順不同)

明治32年(1899) 松木農場(上芽室)、後藤農場(上芽室)、津田開墾合資会社豊頃農場(幌岡)	明治35年(1902) 中野農場(上芽室)	明治40年(1907) 合資会社滋賀農場(土幌)
明治33年(1900) 西田農場(十勝太)、島村農場(農野牛)	明治38年(1905) 杉井農場(美生)	明治41年(1908) 鈴木農場(中土幌)
明治34年(1901) 片上農場(紋別)、東郷農場(屈足)	明治39年(1906) 大井上農場(札内川上流)	明治44年(1911) 島津農場(帯広)

(『北海道農場調査』北海道庁内務部、大正2年)

・1937 日中戦争
・1941 太平洋戦争
・1945 敗戦